

授業科目 生物学の基礎

【担当教員名】 小長谷 幸史 他		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・看護・情報
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 高校で履修する生物に現代生物学の知見を加え、本大学で履修する専門分野の学習の展開の基礎的な側面を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 現在の高校で履修する生物Ⅰ、特に人体に関連する分野の十分な理解、習得することを学習目標とする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	細胞と構造（浸透圧と拡散を含む）				
2	酵素と代謝				
3	呼吸（消化器と外呼吸についても触れる）				
4	生殖と発生				
5	遺伝				
6	受容器・効果器と神経系				
7	恒常性（1）：血液、腎臓、肝臓、心臓				
8	恒常性（2）：内分泌系、自律神経系				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ZERO からの生命科学3版	木村 勉、小林 秀明、南山堂 浅賀 宏明	2010・2,400円＋税・講義の内容をさらに深く知りたいときの参考書	
その他の資料		高等学校で使用した教科書、副読本			
【評価方法】 筆記試験と毎回行うミニテスト			【履修上の留意点】 ミニテストの提出が出席の確認になります。ミニテストの解答が白紙の場合は、講義に最初から参加していても遅刻扱いになります。		